

## 平成 30 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

創設 118 年目を迎える府立富田林高等学校に大阪府立初の（併設型）中高一貫校として併設された本校は、6 年一貫した教育を通して生徒・保護者・地域のニーズに応じた生徒の進路実現を図り、地域・社会に有為な人材（グローバル・リーダー）を育成することをミッションとし、未来に向けた挑戦を始める。

<中高一貫校としてめざす学校像>

「地球的視野に立ち、地域や国のことを考え行動し、国際社会に貢献する人材」の育成校をめざす。

<中高一貫教育を通して育みたい力>

- (1) グローバルな視野とコミュニケーション力
- (2) 論理的思考力と課題発見・解決能力
- (3) 社会貢献意識と地域愛

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力の育成

(1) 各教科・科目において、中高一貫して学習指導要領の目標を踏まえ、「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善に取り組む。

ア 45分×7限授業（35単位時間（45分授業））により、確かな学力の育成に取り組む。

イ 「授業改革推進チーム」を核として、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善に全教員で組織的に取り組む。

ウ 6年一貫のCan-doリストに基づく英語の運用能力の素地を育成する。

エ 家庭学習ノートの一層の活用を図るなど、家庭での学習習慣の確立のための工夫をする。

※（生徒向け）学校教育自己診断における授業満足度を平成30年度は85%（平成29年度86%）以上をめざし、その後も85%以上を維持する。

## 2 高い志をはぐくみ、進路実現をめざす取組み

(1) 中高一貫して「探究」と「貢献」をキーワードに教育活動を組み立て、地域に対する愛情を基礎に、国際社会に貢献しようとする高い志をもつ人材を育成する教育を推進する。

ア・「総合的な学習の時間」では、学年に応じた探究プログラムを開発し、地域をフィールドとして課題発見や課題解決能力の育成等、科学的リテラシーを育成するとともにキャリアプランニング能力を育成する。

イ・中高一貫した進路指導実現のためのシステムを構築する。

※（生徒向け）学校教育自己診断における「将来の進路や生き方について考える機会がある」の満足度70%をめざす。

## 3 豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力をはぐくむ取組み

(1) 充実した学校生活こそが、「生きる力」の源泉になることから、中高一貫教育の観点から学校行事・部活動等の一層の充実を図る。

ア <中高一貫教育を通して育みたい力>の育成に向けて、学校行事を充実させるとともに部活動を奨励し文武両道をめざす。

イ 国際社会の一員として必要な人権意識・マナーを醸成する。

ウ 互いに高め合う、あたたかな仲間づくりを進める。

※（生徒向け）学校教育自己診断の学校行事満足度90%をめざし、その後も90%以上を維持する。

(2) 異文化交流による国際教育を中高一貫して推進する。

ア 国際交流（台湾、オーストラリア、タイ等）の充実

イ ・高校との連携による台湾やオーストラリアの姉妹校との交流の継続

・グローバル人材の育成に向けた海外研修

※（生徒向け）学校教育自己診断結果で国際交流満足度 90%をめざし、その後も 90%以上を維持する。

## 4 中高一貫校としての組織の活性化と地域・保護者との連携

(1) 中高一貫校として再編した分掌組織を機能させ、6年一貫した教育活動の充実を図る。

ア 中高一貫の観点でそれぞれ校種の校務分掌を有機的に関連付けて協働させ、その中で人材育成を図る。

イ 全国的な教育課程研究会への参加や、全国の教育先進校の視察を行い、中高6年間の教育内容を常に検討し改善に努める。

ウ 中高一貫校として相応しい学校Webページに一新するとともに、校長ブログ等による情報の発信を強化する。

※（保護者向け）学校教育自己診断における情報発信の満足度90%（平成29年度は92.0%）をめざし、その後は90%以上を維持する。

(2) 地域・保護者と連携し、魅力ある学校づくりをすすめる。

ア コミュニティ・スクールとして地域と連携のもと魅力ある学校づくりの推進

イ 安全・安心な学校づくり

ウ 地域貢献を推進

※（生徒向け）学校教育自己診断における学校満足度（平成 29 年度 90%）90%以上をめざし、その後も 90%以上を維持する。また（保護者向け）学校教育自己診断における学校満足度（平成 29 年度 95%）90%以上をめざし、その後も 90%以上を維持する。

## 5 働き方改革の推進

(1) 業務効率の向上を図り、職員の心身の健康を維持する。

ア ノークラブデー、ノー残業デーの徹底

イ 校務の見直しによる業務の軽減化

ウ 「外部人材の活用等人的措置」により教職員の負担軽減を図る。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 30 年 12 月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>( ) 内は昨年度</p> <p>1. 学校満足度</p> <p>*生徒・保護者ともに満足は高い。</p> <p>&lt;主な結果&gt;</p> <p>(生徒)「富田林中学校に入学してよかった」86% (90)</p> <p>(保護者)「富田林中学校で学ばせることが出来てよかった」93% (95)</p> <p>2. 学力の育成</p> <p>*保護者は学力の育成に対する取組みに概ね満足。</p> <p>*生徒への学力の定着をめざし授業改善が必要。</p> <p>*教員の授業内容やICTを活用するなどの工夫については、概ね良好。</p> <p>*必要な宿題の量と生徒の学習状況のバランスを調整が必要。</p> <p>&lt;主な結果&gt;</p> <p>①授業</p> <p>(生徒)「わかりやすく興味が持てる授業」80% (86)</p> <p>「内容を深く考えさせる授業」80%(81)</p> <p>「ICT機器活用」97% (95)</p> <p>(保護者)「学校の学習活動への取組に満足」84% (89)</p> <p>(教員) 『主体的・対話的で深い学び』を意識した授業」57% (80)</p> <p>「ICT機器活用」86% (90)</p> <p>「授業方法等を検討する機会」64% (70)</p> <p>②家庭学習</p> <p>(生徒)「宿題の量は適切である」38% (38)</p> <p>3. 学校生活</p> <p>*生徒理解に基づいた指導方法の工夫をするとともに、生徒同士が高め合い認め合える学校づくりが必要。</p> <p>&lt;主な結果&gt;</p> <p>(生徒)「生活指導に満足」77%(78)「いじめ対応に満足」72% (80)</p> <p>「悩みを相談できる先生」47% (62)「悩みを相談できる友人等」76%(新)</p> <p>4. 特色ある取組、豊かな感性</p> <p>*国際交流、海外研修などの本校独自の取組及び学校行事に関して生徒・保護者両者は非常に満足。総合的な学習の時間などの探究活動については、さらに指導内容及び指導方法の研究が必要。</p> <p>&lt;主な結果&gt;</p> <p>①国際教育</p> <p>(生徒)「グローバルな視野とコミュニケーション力育成に満足」89% (96)</p> <p>(保護者)「国際交流満足度」95% (97)</p> <p>②探究活動</p> <p>(生徒)</p> <p>「探究活動(深く考え、情報を収集し、発表する力の育成)」81% (80)</p> <p>(教員)</p> <p>「探究活動(深く考え、情報を収集し、発表する力の育成)」79% (90)</p> <p>③学校行事</p> <p>(生徒)「学校行事への満足度」88% (87)</p> <p>(保護者)「学校行事への満足度」90% (89)</p> <p>5. 情報発信</p> <p>*学校からの情報発信については概ね良好。</p> <p>&lt;主な結果&gt;</p> <p>(生徒)「情報発信に満足」89% (89)</p> <p>(保護者)「情報発信に満足」93% (92)</p> <p>(生徒)「学校からの連絡を保護者に伝えている」78% (83)</p> <p>(保護者)「学校からの連絡を子ども通じて把握」63% (66)</p> <p>2 学校経営</p> <p>*学校経営方針は明確化されている。</p> <p>*中・高教員間連携について工夫が必要。</p> <p>*中高一貫校の中学校長としての役割を明確にし、経営を実行。</p> <p>&lt;主な結果&gt;</p> <p>(保護者)「教育理念や学校運営方針の表明」90% (86)</p> <p>(教員)「教育理念や学校運営方針の表明」86% (100)</p> <p>(保護者)「新しい教育活動への対応」93% (94)</p> <p>(教員)「分掌、教員間、中・高教員間の連携」29% (40)</p>	<p>第1回(5月17日)</p> <p>○H30年度学校経営計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先生がインプットした事柄を生徒たちがアウトプットする機会がたくさんあるようだ。生徒たちの学びを見たい。</li> <li>学校側のビジョンや熱意は伝わってくるが、現実の子ども像が見えにくい。「子どもたちが何を求めているか」という視点を取り入れてPDCAを行ってほしい。生徒たちが自己発信できる場を設けてはどうか。</li> </ul> <p>第2回(11月26日)</p> <p>○「地域連携 社会に開かれた教育課程」(生徒・協議会委員等による熟議*)について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>【熟議のテーマ】(富田林中学・高校を起点として)私たちが地域にできること</li> <li>たくさんの生徒が集まって大人も交えて熟議し、いい案を出してくれた。</li> <li>生徒たちのきらきらした考え、意見を聞くことができ、貴重な機会となった。</li> <li>生徒たちが意見を述べるだけでなく、熟議したことを咀嚼して発表する力を持っていることに感銘を受けた。</li> </ul> <p>第3回(2月26日)</p> <p>○今年度の学校による取組みの自己評価を踏まえた学校関係者評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育に対して、概ね中学・高校とも生徒・保護者両者から高い評価を得ている(90%前後)。</li> <li>一方、「課題や宿題の量は適切である」と回答している生徒が少ないので(中学38% 高校64%)、課題等の内容も含めて検討する必要がある。</li> </ul> <p>○次年度の学校運営の基本的な方針について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「承認」する。</li> </ul> <p>意見として</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国際教育の成果を校内外に発信し、授業を含む学習活動にも生かしてほしい。</li> <li>すばらしい計画であるが、教員の負担にも配慮すべきである。</li> </ul> <p>○提言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6年間の継続指導という中高一貫校のメリットを最大限に生かすため、富田林中学・高校職員の採用その他の任用に関して本校に特化した人事制度を創設するよう教育委員会に意見書を提出する。</li> <li>内進生が高校に進学するに際しての所謂「制服問題」について、意思形成のプロセスを重視し、生徒を含む当事者・関係者を交えて議論を進めてほしい。</li> </ul>

## 府立富田林中学校

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成	<p>(1) 各教科・科目において、中高一貫して学習指導要領の目標を踏まえ、「わかる授業、充実した授業」をめざした授業改善に取り組む。</p> <p>ア 45分×7限授業（35単位時間（45分授業））により、確かな学力の育成に取り組む。</p> <p>イ 「授業改革推進チーム」を核として、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善に全教員で組織的に取り組む。</p> <p>ウ 6年一貫のCan-doリストに基づく英語の運用能力の素地を育成する。</p> <p>エ 家庭学習ノートの一層の活用を図るなど、家庭での学習習慣の確立のための工夫をする。</p> <p>※（生徒向け）学校教育自己診断における授業満足度を平成29年度は75%（平成29年度86%）以上をめざし、その後も75%以上を維持する。</p>	<p>ア・45分×7限授業（中学校では週35単位時間）により、学校生活をデザインする。</p> <p>・毎朝始業前に10分間の「モーニング・イングリッシュタイム」を実施し、中学校初期段階からリスニング力を強化する。</p> <p>イ・年度当初に教科ごとにアクティブ・ラーニングの取組を検討し、各教員がアクティブ・ラーニングの授業デザインをもてるようにする。</p> <p>・年に2回の中高合同の研究授業を実施するとともに、全教科の教科研修を一定期間設け、各教科での研究授業を他教科からも授業参観がしやすい環境をつくる。また、授業観察シートを活用して教科の専門性を超えた授業研究をおこなう。</p> <p>・生徒による「授業アンケート」を7月、12月に実施し、全教員による授業改善シートを作成する。</p> <p>・ICT環境の一層の充実を図るとともに、全教科でICT機器を活用した授業を展開し、成果を生徒用学校教育自己診断で測る。</p> <p>ウ・オールイングリッシュで2日間を過ごす「イングリッシュキャンプを1・2年生で実施する。</p> <p>・中学1・2年生全員に英語能力試験（外部試験）を実施する。</p> <p>エ・家庭学習記録ノートを作成することで、家庭での学習時間を増やす。</p>	<p>ア・（生徒向け）学校教育自己診断における授業満足度を平成30年度は85%以上（平成29年度は86.3%）をめざす。</p> <p>・「モーニング・イングリッシュタイム」の成果を分析したか。 （平成30年度は学力推移調査で成果を分析した。） 全国平均より6.7ポイント上回った）</p> <p>イ・（教員向け）学校教育自己診断「「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）を意識して授業をしている。」（平成29年度80%）80%以上をめざす。</p> <p>・教科研修期間を設け、すべての教科で授業研究が実施できたか。また、年に2回以上の研究授業を実施するなど校内全体で授業研究を実践できたか。</p> <p>・2回の「授業アンケート」を実施し、全教科による授業改善シートが作成され改善がすすんだか。</p> <p>・ICT機器を活用した授業ができたか。 （教員向け）学校教育自己診断「ICT活用授業を行ったことがあるか」85%以上をめざす。 （平成29年度90%）</p> <p>ウ・イングリッシュキャンプを実施し、成果をあげることができたか。</p> <p>・1・2学年全員が英語能力試験（GTEC）を受験し、その技能別結果を「見える化システム」に入れ、全生徒が活用できたか。</p> <p>エ・（生徒向け）学校教育自己診断「家庭学習を平均して1日90分以上している」75%をめざす。 （平成29年度74.4%）</p>	<p>ア・（生徒）学校教育自己診断における授業満足度80%（H29 86%）[△]</p> <p>・「モーニング・イングリッシュタイム」だけでなく英語力を総合的に成果分析し、保護者に対し説明する予定。</p> <p>イ・（教員）学校教育自己診断「「主体的・対話的で深い学び」を意識57%（H29 80%）</p> <p>[△]</p> <p>・授業研究実践を計画以上に実施 [◎]</p> <p>・授業改善シート作成、授業改善 [○]</p> <p>・ICT機器活用 （教員）学校教育自己診断86%（H29 90%） [○]</p> <p>ウ・イングリッシュキャンプを実施（1・2年） [○]</p> <p>・1・2学年全員に英語能力試験（GTEC）を実施。 [○]</p> <p>エ・（生徒）学校教育自己診断「家庭学習」63%（H29 74） [△]</p>
2 高い志をはぐくみ、進路実現をめざす取組み	<p>(1) 中高一貫して「探究」と「貢献」をキーワードに教育活動を組み立て、地域に対する愛情を基礎に、国際社会に貢献しようとする高い志をもつ人材を育成する教育を推進する。</p> <p>ア・「総合的な学習の時間」では、学年に応じた探究プログラムを開発し、地域をフィールドとして課題発見や課題解決能力の育成等、科学的リテラシーを育成するとともにキャリアプランニング能力を育成する。</p> <p>イ・中高一貫した進路指導実現のためのシステムを構築する。</p> <p>※（生徒向け）学校教育自己診断における「将来の進路や生き方について考える機会がある」の満足度70%をめざす。</p>	<p>ア・総合的な学習の時間の中で探究活動の素地を育成する。</p> <p>・地域で身近な課題を見つけ、その解決に向けて生徒が協働的に取り組み、成果を地域フォーラム等で発表する。</p> <p>・総合的な学習の時間の中で、大学や高校教員による自然科学に関する専門的な講座を開設することにより、自然科学探究への意欲・関心・態度を育成する。</p> <p>・総合的な学習の時間の中で「探究」と「貢献」をキーワードとした教材を活用し、自己肯定感を高めるとともに将来の進路や生き方について考え、自ら切り開いていこうとする姿勢を身に付ける。</p> <p>イ・中学1・2年生全員に学力推移調査及び総合学力調査（外部試験）を実施し、将来の目標を早期に見えさせる。</p> <p>・中高一貫した学力向上実現のための組織を構築し、効果的に機能させる。</p> <p>・毎週火曜日の学習優先日に補・講習を実施する。</p>	<p>ア・設定した目標に従い、探究型の課題研究ができ、また個人やグループのプレゼンテーションの質が高まっているか検証できたか。（ループリックの活用）</p> <p>・（生徒向け）学校教育自己診断における「総合的な学習の時間」の満足度80%をめざす。（平成29年度79.5%）</p> <p>・（生徒向け）学校教育自己診断における「将来の進路や生き方について考える機会がある」の満足度70%をめざす。（平成29年度65.8%）</p> <p>イ・学力推移調査及び総合学力調査の分析結果を保護者に公表する。</p> <p>・学習優先日（毎週火曜日）に中学・高校教員、高校生、地域人材（大学生等）を活用し、補・講習を実施できたか。</p>	<p>ア・南河内探究（1年）、社会探究（2年）を実施。「探究の基礎」（講演）やフィールドワーク（12月）を実施し、成果は学年（2月）、とんこう地域フォーラム（3月）で発表する予定。</p> <p>・（生徒）学校教育自己診断「総合的な学習の時間」の満足度81%（H29 80%） [○]</p> <p>・（生徒向け）学校教育自己診断「将来の進路や生き方」満足度66%（H29 66%） [△]</p> <p>イ・学力推移調査及び総合学力調査の分析結果の保護者公表（6・2月） [○]</p> <p>・学習優先日（毎週火曜日）に左記人材（計画以上の数を確保）を活用し富中未来塾を実施。 [◎]</p>

## 府立富田林中学校

<p>3 豊かな感性とたくましく生きるための健康と体力をはぐくむ取組み</p>	<p>(1) 充実した学校生活こそが、「生きる力」の源泉になることから、中高一貫教育の観点から学校行事・部活動等の一層の充実を図る。</p> <p>ア &lt;中高一貫教育を通して育みたい力&gt;の育成に向けて、学校行事を充実させるとともに部活動を奨励し文武両道をめざす。</p> <p>イ 国際社会の一員として必要な人権意識・マナーを醸成する。</p> <p>ウ 互いに高め合う、あたたかな仲間づくりを進める。</p> <p>※(生徒向け) 学校教育自己診断の学校行事満足度90%をめざし、その後も90%以上を維持する。</p> <p>(2) 異文化交流による国際教育を中高一貫して推進する。</p> <p>ア 国際交流(台湾、オーストラリア、タイ等)の充実</p> <p>イ ・高校との連携による台湾やオーストラリアの姉妹校との交流の継続</p> <p>・グローバル人材の育成に向けた海外研修</p> <p>※(生徒向け) 学校教育自己診断結果で国際交流満足度90%をめざし、その後も90%以上を維持する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・中高合同の学校行事の効果的な実施と成果を検証する。</p> <p>① 文化祭・体育祭における準備委員会を高校生と協働で活性化させる。</p> <p>② 修学旅行等を3年間見通した計画を立てることで、内容の充実を図る。</p> <p>・部活動への参加を奨励し、文武両道をめざすとともに中高一貫した指導体制を整える。</p> <p>イ・中学校段階に相応しい人権及び生徒指導研修を計画・実施する。</p> <p>・挨拶、遅刻指導の充実と基本的な生活習慣を身に付けさせる。</p> <p>・制服を着用させる。</p> <p>ウ・中高一貫した「いじめ基本方針」に基づきいじめを許さない仲間づくりを計画的に実施する。</p> <p>・総合的な学習の時間の取組みの中で、演劇的な手法を用いてコミュニケーション力の育成を図る。</p> <p>(2)</p> <p>ア・高校との連携により、台湾やタイをはじめとする様々な国の生徒との交流を充実させる。</p> <p>イ・高校との連携により、台湾及びオーストラリア姉妹校との交流を充実させる。</p> <p>・中高一貫校での修学旅行を検討する。</p> <p>・1・2年次にグローバルリーダー育成海外研修旅行を実施し、世界的な視野を広めるとともに、異文化を理解しようとする態度を育成する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・(生徒向け) 学校教育自己診断結果における行事満足度90%をめざす。(平成29年度87%)</p> <p>・部活動加入率90%以上(平成29年度93%)を維持する。</p> <p>イ・(生徒向け) 学校教育自己診断結果における人権教育満足度90%(平成29年度92%)を維持する。</p> <p>・(生徒向け) 学校教育自己診断結果における校則遵守率90%(平成29年度92.3%)を維持する。</p> <p>をめざす。</p> <p>ウ・(生徒向け) 学校教育自己診断結果における「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」に対する満足度85%(平成29年度80%)をめざす。</p> <p>(2)</p> <p>ア・多くの生徒が海外の中・高校生と交流できたか (国際交流会を3回以上開催する。)</p> <p>イ・海外交流校についての情報を発掘できたか。 (生徒向け) 学校教育自己診断結果で国際交流満足度90%(平成29年度96%)を維持する。</p> <p>・グローバルリーダー育成海外研修旅行を実施できたか。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・(生徒) 学校教育自己診断「行事満足度」 88%(H29 87%) [△]</p> <p>・部活動加入率95% (H29 93%) [○]</p> <p>イ・(生徒) 学校教育自己診断「人権教育満足度」85%(H29 度92%) [△]</p> <p>・(生徒) 学校教育自己診断結果「校則遵守率」92%(H29 92%) [○]</p> <p>ウ・(生徒) 学校教育自己診断結果「いじめ対応満足度」72%(H29 80%) [△]</p> <p>(2)</p> <p>ア・海外交流3回 [○]</p> <p>イ・台湾中高一貫校を視察(11月)し、姉妹校提携 [◎]</p> <p>・(生徒) 学校教育自己診断「国際交流満足度」 89%(H29 96%) [△]</p> <p>・グローバルリーダー育成海外研修(マレーシア)旅行を実施(7月) [◎]</p>
---	--	---	--	---

## 府立富田林中学校

<p>4 中高一貫校としての組織の活性化と地域・保護者との連携</p>	<p>(1) 中高一貫校として再編した分掌組織を機能させ、6年一貫した教育活動の充実を図る。</p> <p>ア 中高一貫の観点でそれぞれ校種の校務分掌を有機的に関連付けて協働させ、その中で人材育成を図る。</p> <p>イ 全国的な教育課程研究会への参加や、全国の教育先進校の視察を行い、中高6年間の教育内容を常に検討し改善に努める。</p> <p>ウ 中高一貫校として相応しい学校Webページに一新するとともに、校長ブログ等による情報の発信を強化する。</p> <p>※(保護者向け)学校教育自己診断における情報発信の満足度90%(平成29年度は92.0%)をめざし、その後は90%以上を維持する。</p> <p>(2) 地域・保護者と連携し、魅力ある学校づくりをすすめる。</p> <p>ア コミュニティ・スクールとして地域と連携のもと魅力ある学校づくりの推進</p> <p>イ 安全・安心な学校づくり</p> <p>ウ 地域貢献を推進</p> <p>※(生徒向け)学校教育自己診断における学校満足度(平成29年度90%)90%以上をめざし、その後も90%以上を維持する。また(保護者向け)学校教育自己診断における学校満足度(平成29年度95%)90%以上をめざし、その後も90%以上を維持する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・中学、高校それぞれの対応する分掌が協働できる会議システムを構築する。</p> <p>・中高一貫教育の観点で新しく再編した分掌(中高一貫創生部)を機能させる中で、人材育成を図る。</p> <p>イ 全国の先進中高一貫校の視察と情報収集を通してカリキュラムや組織体制を充実させる。</p> <p>ウ 中高一貫校としてリニューアルした学校ウェブページから積極的に効果的な情報発信をする。</p> <p>(2)</p> <p>ア・学校運営協議会を設置し、学校運営や学校の課題に対して、教育課程を社会に開きより多くの方々が学校運営に参画できるように努める。</p> <p>・「めざす学校像」の共有化を図るとともにコミュニティ・スクールについて情報収集及び研修を行う。</p> <p>イ・中学校発達段階における教育課題解決のための専門化人材(SC、SSW等)を効果的に活用する。</p> <p>・中高一貫した防災教育計画に基づき防災訓練等を実施するとともに、安全安心のための学校環境の整備を行う。</p> <p>ウ・南河内探究フィールドワークを実施し、地域を知るとともに地域の課題を発見させる。</p> <p>・地域からの要請に応えるだけでなく、地域に出かける活動を取り入れる。</p> <p>・地域住民を巻き込んだ総合学習の成果発表会である地域フォーラムを開催する。</p> <p>・地域貢献活動を実施する。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・中高それぞれの対応する分掌が協働的に機能することができたか。</p> <p>・継続的な人材育成が「創生部」の取組みとしてできたか。</p> <p>イ 中高一貫校の先進校情報を収集し、学校づくりに活かされたか。(視察を2回以上実施する。)</p> <p>ウ 学校webページを中高一貫校としてふさわしいものに一新し、効果的な情報発信ができたか。(保護者向け)学校教育自己診断における情報発信の満足度90%以上を維持する。(平成29年度は92%)</p> <p>(2)</p> <p>ア・学校運営協議会を設置し、取り組み内容についてより多くの方々が学校運営に参画できるようになったか。</p> <p>・(生徒向け)学校教育自己診断における学校満足度90%以上を維持する。(平成29年度は90%)</p> <p>(保護者向け)学校教育自己診断における学校満足度90%以上を維持する。(平成29年度は95%)</p> <p>イ・(生徒向け)学校教育自己診断結果における悩み相談の満足度60%以上。(平成29年度は61.5%)</p> <p>・防災訓練等の改善を行ったか。</p> <p>ウ・総合学習の成果発表会である地域フォーラムを開催できたか。</p> <p>・生徒会が中心となり幼稚園・小学校・中学校等と連携した活動ができたか。</p> <p>・河川清掃などの地域でのボランティア活動を継続できたか。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・(教員)「分掌、教員間、中・高教員間の連携」29%(H29 40) [△]</p> <p>・継続的な人材育成が「創生部」の取組みとしてできたか。 [○]</p> <p>イ 先進校視察3回、研修1回 [◎]</p> <p>ウ (保護者)学校教育自己診断「情報発信満足度」93%(H29 92%) [◎]</p> <p>(2)</p> <p>ア・学校運営協議会委員、府教育庁、府、生徒、教員、企業・大学・地元自治体等(21団体)の参加(合計約70名により「私たちが地域にできること」をテーマに熟議を開催(11月) 21団体とマッチング [◎]</p> <p>・国主催のフォーラムに学校運営協議会及び教職員が参加し情報収集(7・8・11・12月) [◎]</p> <p>・(生徒)学校教育自己診断における「学校満足度」86%(H29 90%)</p> <p>(保護者)学校教育自己診断における「学校満足度」93%(H29 95%) [△]</p> <p>イ・(生徒)学校教育自己診断「悩み相談の満足度」 [△]</p> <p>相談できる先生47%(H29 62%)</p> <p>相談できる友達・先輩後輩等76%(新)</p> <p>・防災訓練等の改善を行った。 [○]</p> <p>ウ・総合学習の成果発表会である地域フォーラムを開催できた。 [◎]</p> <p>・生徒会が中心となり幼稚園・小学校・中学校等と連携した [○]</p> <p>・河川清掃などの地域でのボランティア活動を継続した。 [◎]</p>
<p>5 働き方改革の推進</p>	<p>(1) 業務効率の向上を図り、職員の心身の健康を維持する。</p> <p>ア ノークラブデー、ノー残業デーの徹底</p> <p>イ 校務の見直しによる業務の軽減化</p> <p>ウ 「外部人材の活用等人的措置」により教職員の負担軽減を図る。</p>	<p>(1)</p> <p>ア 各クラブのノークラブデーの徹底を周知するとともに、本校のノー残業デーである金曜日の職員朝礼でのアナウンス及び17時以降における退勤の職員間での声掛けを励行する。</p> <p>イ・中高協働で実施できる部活動や行事などの取組みの推進、各種研修などの実施時期や実施時間帯を見直すなど、校務を見直すことで業務の軽減化を図る。</p> <p>ウ SSWの効果的な配置や、学校協働活動を充実させ、地域人材や学生サポーターを効果的に配置することにより教職員の負担軽減をはかる。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・ノークラブデーやノー残業デーが徹底されているか。</p> <p>イ・校務の見直しを図ったか。</p> <p>中高協働で実施できる部活動5部以上をめざす。</p> <p>ウ・外部人材を適切に配置したか。</p> <p>ア、イ、ウとも、(教員向け)学校教育自己診断結果における富田林中学校での勤務満足度(H29 100%)85%以上をめざす。</p>	<p>(1)</p> <p>ア・ノークラブデーやノー残業デーを引き続き徹底していく。</p> <p>イ・中高協働で部活動を実施(9部) [◎]</p> <p>ウ・外部人材を適切に配置した。SSW、SCに加え大学教授等の専門家を活用。また、学生サポーター、地域人材を活用し教育活動にあたった。 [◎]</p> <p>(教員向け)学校教育自己診断結果における富田林中学校での「勤務満足度」71%(H29 100%) [△]</p>